

都公退連合会会報

第4号

発行日 2024(令和6)年3月31日
発行所
東京都公立学校退職教頭・副校長
連合会 会長 前川 法久
〒183-0053
東京都府中市天神町 2-13-7
電話 042-363-7673



東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

目 次

1. 都教委への要請活動の充実に向けて	会長 前川法久	p 3
2. 連合会とは	山浦朝日	p 4
3. 令和4年度 行事報告・決算報告		p 5
4. 令和5年度 行事計画(案)・予算(案)		p 6
5. 令和4・5年度 連合会役員名簿		p 7
6. 令和5年度活動報告		p 8
7. 令和5年度 研究報告 大河内保雪		
	「持続可能な社会に向けての退職教頭・副校長の役割について」	p13
8. 東京都教育委員会への要請文		p20
9. 連合会会則		p21
10. 日教公弘済会教育振興事業選考委員会規定		p22
11. (公財)日本教育公務員弘済会東京支部教育振興事業選考委員会について		p23

都教委への要請活動の充実に向けて 本会各部の相互交流を盛んにしましょう！

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会会長 前川法久

本連合会が昨年（令和5年10月8日付け）提出した要請書の「回答」が東京都教育庁総務部広報統計課長坂井良充様から本会に（令和5年12月11日付け）届きました。「内容はA4用紙4ページに渡って、項目毎に該当する各所管（人事部職員課・総務部教育政策課・人事部勤労課・人事部選考課・指導部指導企画課）からの回答でした。さらに、1月に本会事務局宛に「再質問があれば要請行動を受けます」という連絡が入りましたが、重要な再質問は特に出でませんでしたので更なる要請活動は中止となりました。



例年の要請活動は、要請書を本会事務局より都教育委員会へ事前にお届けして、教育委員会から都合のつく日時に、約1時間程度教育委員会会議室で行って来ましたが、文書による回答は今回初めて体験しました。

要請事項の回答内容は本会事務局より小中高部会の各担当者へ直ちに伝えました。小中部会からの再質問は特になく、高校部会では昨年末に実施された冬季研修旅行の研修会で検討し、参加者からご意見を頂きました。回答が国会答弁のようで具体的な実施状況が分かりづらく、議論が深まりませんでした。教職への人材集めの工夫・改善、教育予算の地域差などどこをどのように見直していけば前へ進められるか具体的な問題点を洗い出す必要があります。例えば、部活の外部指導員の処遇が他産業と比較して適切であるのか、都の支援がどの程度実施され、その成果はどのようになっているのか具体的に示していただくとありがたい。教職手当の%表示・諸手当が時給いくらに相当するかを比較するとき、一般には検討しやすく成ります。一般の最低賃金より低い対価で人材集めを求められるとき現場は頭を抱え四苦八苦しみます。生身の人材を集めるには相応の処遇が必要です。都側の努力している方向は理解できるが、受け取る側の現場の実態はどの程度改善されてきているか知りたいところです。

新任教員が1学期間保てなく退職していく傾向が年々増加していきます。都の現状の解決策では効果が現れていません。抜本的な見直しが求められています。

本会は各小中高部会相互の意見交換を増やす機会が徐々に増え、視点が広がってきました。例えば、本会主催の教育懇談会には本会会員のみでなく、外部の面接指導の体験者や弁護士さんの参加もあり、議論を深めることが出来ました。小中高各部主催の行事に互いに参加し、意見交換の中に共通の教育課題を充実させて、都側に解決を要請していきましょう。解決策を実現していくために皆様のご協力とご支援を是非お願い致します。

連 合 会 と は …

『連合会(略称)』は、およそ30年の歴史を持つ組織です。

スタート時は?

退職後の処遇(年金・退職金の削減反対等)に関して、それぞれの部会が、現職教頭の処遇向上等も含め、個別に都教委へ要請していました。小学校部会と都立学校部会が連携を深めた時、中学校部会に声掛けが行われ、中学校会員の有志が参加し『連合会』を名乗ることとなりました。

ここに、校長会にも無い、特色ある『異校種連携』が生まれました。

『連合会』は、

- 1、東京都公立小学校退職教頭・副校長会
- 2、東京都公立中学校退職教頭・副校長会
- 3、東京都立学校退職教頭・副校長会

の3団体が、『東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会』という名のもとに、教育振興のための諸活動をしています。

『連合会』は、三つの視点を持っています。

- 1、自分たち自身を見つめる眼。

退職後の生活が豊かなものであるように。

職責を果たしたことが、公に、認められるように。

- 2、後を継ぐ者たちを見つめる眼。

職務に専念できる環境が整えられるように。

公教育の担い手として責任を果たせる力を身につけるように。

- 3、子どもたちを見つめる眼。

『生きる力』をきちんと身につけられるように。

『いじめ』や『貧困』にさらされることの無いように。

『連合会』は、『役に立つ会』でありたい。

会員にとっては…情報交換が役に立つ集まり。

会うことが楽しい集まり。

社会に対しては…経験を生かしたボランティア活動。

機会を生かした発信活動(教育を語る)。

校種を越えた貴重な出会いの場。これからも繋がり続け、新しい人脈が生まれる場であって欲しい、と願っています。

これからの連合会を考える視点は。

変化を受け入れつつも、公教育の危機を感じる今、『異校種』が交流できる貴重な場を失いたくはないと思います。

- ① 自身の生活を守るために、どんな活動が出来るのだろうか。
- ② 学校教育を守るために、どんな活動が出来るのだろうか。
- ③ 子どもたちを守るために、どんな活動が出来るのだろうか。
- ④ 組織の維持発展や若返りは、どうすれば可能なのだろうか。

また、「公教育の危機」のうち、少子化によってもたらされる危機は、解決が遠いけれど、『いじめ』

『不登校』『格差』については、このままで良いのかと、大声を張り上げなくとも、連携し、機会を捉えて、誠実に、訴え続ける集まりでありたいと思います。

(文責 山浦朝日)

1 令和4年度

行事報告

要請活動と新年会以外は14:00~16:00 弘済会会議室を使用

令和4年	6月7日(火)	総会準備(原案作成)
	6月21日(火)	定期総会
	9月13日(火)	都教委への要請文検討会
	12月20日(火)	東京都教育委員会へ要請活動
令和5年	1月29日(土)	賀詞交歓会(世田谷ボランティアセンター)
	3月14日(火)	年度反省, 次年度予定作成

決算報告

単位:円

収入の部	金額	摘要
前年度繰越金	62,180	
令和3年度分担金	150,000	5,000×3部会
研究助成金収入*	500,000	HP維持, 連合会報, 研究費等
収入合計(W)	577,180	

支出の部	金額	摘要
本部連絡費	2,285	郵送費
部内連絡費, 要請活動交通費	12,000	2,000×3部会(6名分)
会議借用量	8,880	2,220×4回
研究助成金支出	500,000	HP維持, 連合会報, 研究費等
支出合計(X)	523,165	
残高(W-X)	54,015	
次年度繰越金	54,015	

【凡例】*印は、日本教育公務員弘済会から教育研究活動の助成を目的として交付されたもの。
上記の通り、報告いたします。

令和5年4月15日
東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会
堀江 徹 印

2 令和5年度

行事予定(案)

要請活動と新年会以外は14:00~16:00 弘済会会議室を使用

令和5年	6月6日(火)	総会準備(原案作成)
	6月21日(水)	定期総会
	9月12日(火)	都教委への要請文検討会
	11月中を目途に	東京都教育委員会へ要請活動
令和6年	1月27日(土)	連合会新年会(13:00~)予定
	3月12日(火)	年度反省, 次年度予定作成

予 算 (案)

単位:円

収入の部	金額	摘要
前年度繰越金	54,015	
令和5年度分担金	15,000	5,000×3部会
研究助成金収入*	500,000	HP維持、連合会報、研究費他
収入額合計(Y)	569,015	

支出の部	金額	摘要
本部連絡費, 都教委要請活動費	6,000	
研究助成金支出	500,000	HP維持、連合会報、研究費等
支出額合計(Z)	506,000	
残高(Y-X)	63,015	
次年度繰越額	63,015	

【凡例】 *印は、日本教育公務員弘済会から教育研究活動の助成を目的として交付されたもの。

#印は、会議室として都教弘会館4階(50人規模)を借用。(有料)

「新年会」は、その都度決済し、残高は会費に繰り入れる。不足時は、会費で充当する。

令和4・5年度連合会役員名簿

顧問	氏名
小学校	野沢 宏治
中学校	山浦 朝日
都立学校	岡田 光好

連合会会長	令和4・5年度は都立
都立学校	前川 法久

副会長	各部会4名
小学校	高松 泉
小学校	大谷 明
小学校	須山 道雄
小学校	
中学校	相原 一矢
中学校	西川 順
中学校	松島 健治
中学校	小出 統英
都立学校	前迫美智子
都立学校	平田 晃
都立学校	針馬 利行
都立学校	大河内保雪

・空欄は欠員

理事	各部会4名以上
小学校	岩本 美枝
小学校	大西 規子
小学校	
小学校	
中学校	大西 幸江
中学校	飛弾 静子
中学校	福岡 健
中学校	和田 俊彦
都立学校	長田 真一
都立学校	小川 達夫
都立学校	堀江 徹
都立学校	湯澤 賢兒

監事	各部会1名
小学校	森部 治行
中学校	山口 敬子
都立学校	松田 輝美

選考委員	各部会より
小学校	豊田 英昭
中学校	西川 順
中学校	福岡 健
都立学校	大河内保雪

活動報告（教育課題）

保護者との教育懇談会開催

開催日 令和5年6月16日（金曜日）午後3時から4時、

場 所 八王子市立由井中学校

参加者 由井中学校長、由井中 PTA 役員 13 名 連合会 4 名

参加者自己紹介の後、「中学校保護者として心配なこと」について、話し合いが行われました。保護者からは、「子どもが学習に真剣に取り組んでくれないことが心配だ」「子どもに勉強へのスイッチを入れるには、どうすればよいか」等の相談が寄せられました。

これに対して、退職副校長からは、「子どもの関心や意欲を高めるために、好きなことをやらせること」

「現在熱中していることがあれば、それをしっかりと行わせること」「中学校時代に熱中したことは決して無駄ではなく、都立高校の推薦入試面接では必ず聞かれる質問であること」が話されました。

また、連合会が行っている講演会「保護者の高校入試の心構え」は、保護者としても安心して都立高校入試に取り組むことができるという話がありました。連合会としては、今年度も引き続き都立高校推薦入試の面接と作文の指導に取り組むことが話されました。



高校生による学校説明会

開催日 令和5年9月30日（土）午後1時より5時

場 所 世田谷北沢ボランティアビューロー（小田急線梅が丘）

参加者 中学生2名、保護者2名、高校生2名、大学生1名、退職副校長5名

参加者の自己紹介から始まり、最初に、「今年度の高校入試の傾向と対策」についての話がありました。都立高校入試は、今年度より男女定員制が廃止されることが決まっており、保護者からは、「入学する男女差の大きい都立高校が生まれるのではないか」という意見がありました。

次に、高校生と大学生からは、①学校選びで重視したこと、②学校見学で注意したこと、③推薦入試への対策と取り組み、④学力検査への対策と取り組みについて、自分の

体験が話されました。そして、参加者中学生や保護者からは、「都立高校推薦入試の対策について」「都立高校への学校訪問や授業見学の方法について」「都立高校学校説明会で特に聞いておくことは何か」等について質問がありました。



これに対して、退職副校長からは、「都立高校は、偏差値が同じでも学校ごとに違いが大きく、各学校の特色をしっかりと理解して受験すること」「来年度からは、高校のカリキュラムが新学習指導要領により実施されます。自ら学ぶ意欲や将来の目標をしっかりと考えておいてください」「高校推薦入試の面接では、中学校生活について聞かれるので、中学校生活を充実させて過ごすことが大切である」などの話がありました。

現役の高校生が中学生に都立高校の様子や入試について話すことは、中学生や保護者にとっては参考になります。そして、東京都公立学校退職副校長会連合会では、都立高校推薦入試指導を行っており、希望者には個別指導を行うことが伝えられました。

教育懇談会（都立高校入試について考える）

開催日 令和6年2月17日(土曜日)午後1時から4時

場所 世田谷ボランティアセンター会議室

内容 1 はじめに(会長挨拶) 2 参加者自己紹介 3 都立高校推薦入試指導の実践報告
4 都立高校入試指導の在り方について 5 その他

参加者 都立学校4名 中学校2名

講師 沖田氏：弁護士で、10月28日連合会開催の講演会「高齢者に多い法律相談について」の講師でもありました。

渡邊氏：広告代理店勤務、NPOの中高校生キャリア支援、塾での作文面接指導講師

都立高校推薦入試指導の実践報告…講師の渡邊氏から中学3年生への面接指導と作文(論文)指導の実践報告がありました。面接指導(約20名の生徒を一斉指導)では、生徒に面接官役と面接者(受験者)役を交互に体験させ、面接官の意図や考えかたを、面接官の立場に立ってみることができたのではないだろうか。作文(論文)の添削指導では、どのようなレベルに合わせて、どの程度まで掘り下げて添削するのか、非常に苦労したとのこと。等々、工夫した点、重点的に指導をしたこと、生徒とのやり取りなど報告がありました。



都立高校の入試の在り方…

- ・男女別定員撤廃(都立高校は全国の公立高校で唯一、全日制の普通科の入試で男女別の定員が設けられていました)問題。今年の入学選抜結果に注目したい。
- ・昨年度までコロナ禍のため、推薦選抜で集団討論ができなかったが、今年から復活した。今年の推薦選抜で、集団討論を実施した都立高校は数校に過ぎなかったが、今後復活するか…。
- ・面接における生徒自己PRカードの扱いについて…面接指導では、最も重視すべきことであるが、中学校進路指導体制には、このことが浸透していないようである。このこと周知させるための活動を進めたい。
- ・その他、不登校問題、特別支援学級、大学AO入試など多岐にわたって、意見交換ができました。



活動報告（教養と交流）

講演会 テーマ

高齢者に多い法律相談について

都立高校部会

開催日 令和5年年10月28日（土）午後1時から4時30分
 場所 私学会館アルカディア（JR中央線 市ヶ谷）
 講師 弁護士の沖田洋文氏（朝日中央総合法律事務所）
 内容 「相続とは？」 「相続でもめるケースについて」
 「遺言の方式、ルール」など

退職高齢者に多い法律相談としては、相続に関することが多くなっています。そこで、家族間での争いを避けるためには、遺言の作成がありますが、意外と知らないことが多いようです。今回は、紛争の多い事例に学びながら、スムーズな相続について、お話を聞きました。

参加の会員からは、個別具体的な問題についての質問にも丁寧に回答していただきました。

今後、トラブルの起こった法律問題については、相談を引き受けていただけますので事務局まで連絡ください。



講演会 テーマ

「息を吹き返す、伝統の力」 ～ 甦る、郷土の刀 ～

中学校部会

開催日 令和6年3月15日（金）午後14時から17時
 場所 中野区教育センター分室（中央線 中野駅）
 講師 刀匠 佐藤利美氏
 内容

講師の先生から、鉄から始まり、刀というものに心が動いた動機からお話しをしていただきました。教材会社を経営しながら、40代前半から刀に興味を持つようになり、金属について深く学びたいという意識が強く、大学の専門学校で金属学を学びました。その後、十数余年、日本刀の作り方を教わるため週末、新潟の師匠の所に通う日々が続き、文化庁の学科、実技試験に合格し資格と得たそうです。以下、下記のような内容で丁寧に解説していただきました。

- ① 鉄をつくりだす技術（たたら操業：鉄のかたまり）
- ② たたら製鉄のおこりと発達
- ③ 日本刀の金属の組み合わせの種類
- ④ 日本刀の刃文（はもん）の種類

など、普段、教わることのない多くのことを学び深めることができた研修会でした。



親子囲碁教室

都立学校部会

1) 実施 原則月第一土曜日(午後13時～午後15時)に開催しています。

令和5年度の活動日は

5月20日、6月3日、7月29日…世田谷ボランティアセンター

8月5日、9月2日、10月7日、11月4日、12月2日…北沢ボランティアビューロー

令和6年1月6日、2月3日…世田谷ボランティアセンター

会場は、世田谷ボランティアセンターです。8月に改修工事が入り、12月までは使用できませんでした。この間は、北沢ボランティアビューロー(小田急線梅が丘駅)で実施しました。

2) 活動…誰でも、そして親子で囲碁を楽しんでもらうため、対局や初心者向けの指導碁を中心に行っています。昨年度より希望者に囲碁教室の前に学習時間を設け、教科指導(主に、英語、数学)も行うようにしました。令和5年度は、囲碁教室参加者に高校受験生1名がおりましたので、学習支援を行いました。都立高校に見事合格しました。



3) 参加者を募集しています。…親子に限らず、どなたでも、参加できます。初心者の方、有段者の方大歓迎です。

丹沢でBBQ

都立学校部会

丹沢日向溪谷でのBBQは、春と秋に年に2回行ってきました。春は新緑の季節。さわやかな風が心地よく吹き抜けます。秋は、紅葉です。丹沢の季節の変わり目を楽しみながら、1日、ゆっくりと過ごします。

BBQは、網、鉄板等の大きな道具はレンタルで、以外の野菜、肉などの食べ物、飲料、燃料等は、はすべて持参します。現地に着いてから、かまどを作りから火熾しまで体験します。従って食事ができるまでは、30分～40分と結構時間がかかります。これも楽しみの一つです。そばには川(日向川…多摩川に合流します)が流れ、鱒釣り(有料)もできます。一日退屈することは、ありません。



- ・令和5年度は…春の6月10日(土)と秋の11月18日(土)の2回行いました。
- ・BBQ会場までは…小田急線伊勢原駅(新宿から約1時間)ーバス(日向薬師行20分)ー日向薬師(バス停)…(徒歩30分)…日向溪谷 クワハウスBBQ会場

樋口一葉文学散歩 「たけくらべ」ゆかりの地を訪ねて

小学校部会

宮本叔徳先生（台東区立松葉小元副校長）の案内で、一葉がかつて居住し、「たけくらべ」の舞台にもなった下谷龍泉寺町（現・台東区竜泉）界隈からスタートし、浅草寺まで約2時間かけて散策しました。

一葉の住まいは、吉原遊郭の近くにあり、遊女の悲惨な生活ぶりを身近に感じていました。散策では、無縁仏として葬られた遊女の墓（浄閑寺）や当時の面影を残す吉原の町並みをたどりましました。文学作品とその背景となる地域の散策は、筆者や登場人物の心情をより深く理解するために参考となりました



<樋口一葉記念館>

日 時 令和5年10月21日（土）10時～12時

散策コース 浄閑寺…一葉記念館…飛不動…江戸町1丁目の門…吉原公園…吉原大門跡・見返り柳…大鳳神社…浅草寺

新年会（2024.1.26）

連合会

新年会は、コロナ感染症蔓延のため、2019年以来取りやめていました。去年は、賀詞交換会という形で開催しましたが、今年度は、新年会を復活することができました。

今回は、横浜中華街の食べ放題・飲み放題のコースです。食べたい料理や日頃食べられない料理が注文でき、皆さん自分のそれぞれ好きな料理を注文していました。十分に満足することができました。久しぶりの新年会でしたが、和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。また、「連合会としてのこのような親睦会をどんどん開いてほしい」という要望もありました。

場所と時間 横浜中華街 「龍翔記」 12:00～15:00

参加者 小学校部会 大西

（敬称略） 中学校部会 松島、福岡、和田、幸丸

都立学校部会 前川、前迫、大矢、大河内、小川、湯澤、針馬、堀江



令和5年度研究報告

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会アンケート報告

主題 「持続可能な社会に向けての退職教頭・副校長の役割について」

都立学校 大河内保雪

1 はじめに

現代は、二酸化炭素排出の増大により、地球規模での温暖化や気候変動が起これ、人類の生存の危機を迎えようとしています。また、世界各地では、悲惨な戦争が後を絶ちません。2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」で、「持続可能な開発目標」(SDGs)が決められました。そのために、わが国でも「持続可能な社会」への取り組みが行われています。

「持続可能な開発目標」にもある学校教育は、今日の日本において少子高齢化時代や情報化時代への対応のために、様々な先進的な取り組みが行われています。しかし一方で、教員不足、不登校の増加や教員の不祥事が起こっています。また、教員の働き方改革が進められていますが、相変わらず多忙化解消が進んでいません。特に、学校での副校長の長時間勤務が変わっていません。

このような時代の中で、長年学校教育に関わってきた退職教頭・副校長は、「持続可能な社会」のために、どのような役割を持っているか、どのような社会貢献ができるかについてについて検討しました。

2 主題設定の理由(アンケートのねらい)

AIの出現など情報化時代の急速な進展や地球規模での気候変動などの影響が顕著にみられる時代に、学校教育に関わる教員の社会認識は、児童生徒の教育に影響を与えることになります。

そして、東京都では、教員不足や教員の多忙化の中で、学校教育にかかわっている退職教頭・副校長の役割は、ますます重要となっています。再任用職員、非常勤講師など学校現場で直接児童・生徒とのかかわりが深い退職教頭・副校長は、新しい時代への社会的認識や知見を深めています。

そこで、退職教頭・副校長のSDGsについての認知度、関心度、取り組みの現状、今後の課題について明らかにするために、課題を設定しました。

3 研究方法

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会(以下「連合会」と略す)の小学校部会、中学校部会、都立学校部会でアンケートを実施した。アンケートの実施時期は、2023年8月1日から31日です。

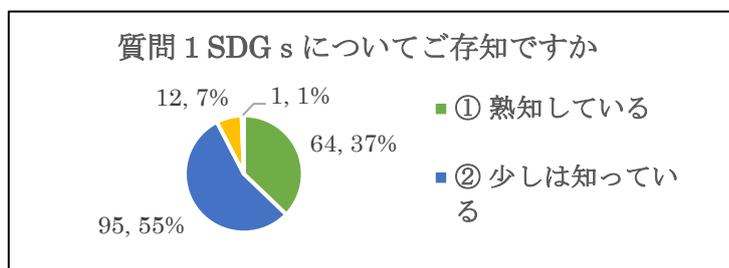
4 アンケート結果について（回答数）

	小学校	中学校	都立学校	計
回答数	14	124	34	172

・質問1以外の各問は、複数回答可としています。

質問1 「SDGsについて、ご存知ですか。」

	回答数	%
① 熟知している	64	37.2
② 少しは知っている	95	55.2
③ 余り知らない	12	7
④ 関心が無い	1	0.6
計	172	100



・「熟知している」「少しは知っている」の合計92.4%です。関心の高さがうかがえます。

質問2 「持続可能な社会のために、関心があることは何ですか」

	回答数	%
① 気候などの環境問題	99	43.6
② 健康や福祉の問題	46	20.3
③ 質の高い教育	42	18.5
④ 経済成長	9	4
⑤ 男女平等などジェンダー	21	9.3
⑥ その他	10	4.4

⑥ その他

- ・豊かな生き方
- ・すべてで人々の安価かつ信頼できる再生可能エネルギーと確保
- ・エネルギーの問題
- ・ゴミ分別とリサイクル
- ・全部関心を持って看ている、TV、で一部支援を
- ・次世代の為に、どんなことが残せるのかを考えたい)
- ・共存社会の必要条件 ・世界平和 ・読書、旅行 ・移民政策の推進

・「気候などの環境問題」43.6%。その他項目に「再生可能エネルギー」「ゴミ分別とリサイクル」に関心を示している。身近な環境問題に関心を持っている人が多いといえます。「健康や福祉の問題」20.3%でこのテーマは、いつも関心が高い

質問3「あなたが、持続可能な社会のために積極的に取り組んでいること」

	回答数	%
①健康に気をつけている	108	38.8
②エコバックをもっている	70	25.2
③家庭菜園など自らを大切にしている	25	9
④車の運転を控えている	13	4.7
⑤男女差別の言葉や態度に気を付けている	41	14.7
⑥その他	21	7.6
計	278	

⑥その他

- ・仕事
- ・持続可能な組織の在り方研究
- ・持続可能な開発のための実践とグローバル・パートナーシップを構築する。
- ・マイボトルを持ち歩く・ムダをなくす・節電・節水・ゴミを最小にする
- ・ユニセフなどへ募金・ボランティアをしている。
- ・食品ロスへの対応・後進の指導
- ・もし、「認知症になったら」
- ・地域社会との融和
- ・資源ごみ
- ・読書などボケ防止
- ・書道
- ・人の感情を害する言葉を控える
- ・渇水を危惧して節水
- ・障害者（児）との交流

・「健康に気を付けている」38.8%、「エコバックを持っている」25.2%、「男女差別の言葉や態度に気を付けている」14.7%となっています。質問2の関心のあることについて、実践している様子が分かります。

質問4「連合会として どのような事に取り組めば良いと考えますか」

	回答数	%
①SDGsの学習会を開く	50	26.3
②学校でのSDGsの活動を支援する	74	38.9
③地域でのSDGsの活動を活発にする	15	7.9
④SDGsのキャンペーン活動に協力する	41	21.6
⑤その他	10	5.3
計	190	100

⑥その他

- ・学習内容の削減と学習指導要領の見直し
- ・すべての教育を確保し、生涯学習の機会促進
- ・自分や身近な人に意識を高くしてもらう。
- ・研究指定校や周年行事をやめること
- ・SDGsに特に関心がない ・社会の一員としての自覚
- ・組織として深入りしないほうが良い
- ・経済成長より質の高い経済社会・SDGs初めて出会い新聞など丁寧に読んでいます。

・「学校での活動支援」38.9%、「学習会を開く」26.3%、「キャンペーン活動の協力」21.6%となっています。SDGsに積極的に取り組みたいという意欲が感じられます。

質問5 我が国として「持続可能社会」のために、どのようなことに取り組みばいいですか

	回答数	%
①二酸化炭素の排気ガス制限を強化する	58 	27.4
②経済優先の政治を改める	34 	16
③AI等の利用を制限して人間教育を充実させる	38 	17.9
④少子高齢化問題に積極的に取り組む	66 	31.1
⑤その他	16 	7.5
計	212	

⑤その他

- ・ 気候変動問題
- ・ 飢餓を減らせ、食料安全保障&栄養改善の有機農業促進
- ・ 高齢化が進む中、人々が幸せに暮らせる世の中にしたい
- ・ エネルギーの問題に取り組む
- ・ 経済優先の政治を改める＋ムダをなくす「経済学上に必要なこと」
- ・ リサイクル社会の実現 ・ 原子力発電の全廃
- ・ ひとりよがりでない考え方と正しい方向性を訴える
- ・ 原発に頼らないエネルギー問題の解決、推進
- ・ 正しい情報と考え方を伝達していく・中学校教員の過労を減らす方策を第一にすべきです。
- ・ 教育を通して主体的に物事を促せる行動する子育て支援のための講演会や出前授業などのサポート
- ・ このようなアンケートをとり、工夫して取り組んでいることを広めていく<誰でもできることを>)
- ・ 世界の現実をもっと正確に伝える
- ・ 環境問題
- ・ 地域間の格差の解消

- ・ 「少子高齢化の問題」31.1%で、最も関心が高い。次いで「二酸化炭素増加の問題」27.4%、「AI時代への対応」17.9%となっています。いずれの項目も、国の対応が遅いと感じている項目ではないでしょうか。

5 考察…各質問に対して

質問1…

SDGs への認知度は高く、日頃から社会的関心があると考えられます。しかし、限られたアンケート回答数であり、より母集団を大きく取り、詳細な分析をしたいところです。

質問2…

最も高い関心を寄せているのは、「気候などの環境問題」です。世界各地における大洪水や長期間にわたって延焼が続く山火事などが、今までに経験したことがない規模で起こっている。地球規模での温暖化が加速していることへの危機感から関心度も高い。

次に関心の高かったのは、「健康・福祉の問題」です。回答者が退職教・副校長の高齢者で、自分自身の健康問題と重なり合う課題でもあるためでしょうか。そして、「質の高い教育への」関心は、教員経験者であるだけによく理解できます。

質問3…

「積極的に取り組んでいる」ことは、自らの健康への関心であり、人生百年時代に向けての高齢者の姿勢を示しています。質問2とともに健康問題には、いつも高い関心を示しています。

次いで高い関心を示したのは、「環境への配慮のため」の行動でしょう。日常的にエコバックを使用、ごみの削減、食品ロスへの対応など身近なところで取り組みを行っています。

そして、回答者が学校教育に関わっている(いた)こともあり、積極的に男女平等教育への取り組みを実践している様子がうかがわれます。

質問4…

連合会としての組織的な取り組みとしては、学校でのSDGs活動の支援として、学習会の開催等の提案など、SDGsへの積極的なかわりが求められています。質の高い経済社会の実現のためにも、組織的にSDGsの理念を普及し、実践することが必要となります。

質問5…

持続可能な社会の実現のための課題としては、第一に、少子高齢化の問題が挙げられています。少子化対策としては、出産育児のための優遇措置や女性の働きやすい職場の実現など子育て環境の整備が検討されてはいるが、まだまだ十分とはいえません。例えば、男性の育休取得率が相当低い。その理由として、人材不足や仕事の性質、企業の雰囲気など職場環境が大きく関係している。このことは、何年も前からいわれていることですが、今日まで、ほとんど改善されていません。このような状況を変えるのは、国による環境整備を急ぐことと、国民一人一人の意識改革でしょう。高齢化社会への対応としては、高齢者が安全・安心に暮らせるための環境を作ることです。年金制度の充実や地域コミュニティの形成が求められます。

第二に、二酸化炭素の削減などの地球規模の気候変動への対応が求められています。特に近年の気候変動は、夏の熱中症アラートの連続した発令や100年に一度の風水害の災害が起こっているように、自然環境の破壊への危機感から来るものでしょう。

第三に、情報化時代に向けてのAIの発達などで人間教育への重要性が求められています。情報化の進展は、機械による情報伝達が中心であり、人間同士が対面で会話することを少なくしています。そのために、人間の孤立化や人間疎外を起こしています。そのために、学校では不登校生徒が急増し、対応に追われています。学校教育での仲間との交流や人間的な触れ合いが必要となっています。

6 今後の課題(まとめ)

連合会では、会員の高齢化や、教育公務員の65歳定年制の導入もあり、会員数が年々減少している。そのため年間を通しての活動が停滞気味になっている。会員確保や日常活動の活性化などの課題が生まれています。

また、会員からは、少子高齢化社会の進行が進んでいる一方では、情報化によるAIの活用や社会の急速なデジタル化への対応に苦慮しているという声もあります。AIを全く否定することは、不可能です。AIの進歩とどう調和(活用)してゆくかが喫緊の課題ともいえるでしょう。

このアンケートで明らかとなった退職教頭・副校長のSDGsへの高い認知度は、新しい時代の教育に生かしてゆかなければなりません。同時に、地域社会の一員として一層のSDGsへの普及や実践活動が求められます。

このような変化の厳しい社会変化の中で、連合会としての社会貢献活動として、東京都教育委員会への要請行動があります。退職教頭副校長や現職副校長の活用についての要望や東京都の教育課題について提案してきました。教員不足が深刻となり、学校での教員の勤務の過酷な状況は改善されていません。また、不登校生徒の増加が懸念されています。

連合会は、東京都教育委員会と連携して、今日の教育課題の改善に取り組んでいます。

資料1 部会別集計表

質問1 DGsについて、ご存知ですか。(小:小学校 中:中学校 都:都立学校)

		①熟知している	②少しは知っている	③余り知らない	④関心が無い	計
回答数	小	8	5	1	0	14
	中	45	72	6	1	124
	都	11	18	5	0	34
	計	64	95	12	1	172
%	小	57.1	35.7	7.1	0	
	中	36.3	58.1	4.8	0.8	
	都	32.4	52.9	14.7	0	
	計	37.2	55.2	7	0.6	

質問2 「持続可能社会」のために、関心があることは何ですか。

		①気候などの環境問題	②健康や福祉の問題	③質の高い教育	④経済成長	⑤男女平等などジェンダー	⑥その他	計
回答数	小	9	4	7	1	2	1	24
	中	67	33	17	5	11	5	138
	都	23	9	18	3	8	4	65
	計	99	46	42	9	21	10	227
%	小	37.5	16.7	29.2	4.2	8.3	4.2	
	中	48.6	23.9	12.3	3.6	8	3.6	
	都	35.4	13.8	27.7	4.6	12.3	6.2	
	計	43.6	20.3	18.5	4	9.3	4.4	

質問3 あなたが、積極的に取り組んでいることはありますか。

		①健康に気をつけている	②エコバックをもっている	③家庭菜園など自らを大切にしている	④車の運転を控えている	⑤男女差別の言葉や態度に気を付けている	⑥その他	計
回答数	小	7	10	2	1	4	4	28
	中	73	51	12	8	29	11	184
	都	28	9	11	4	8	6	66
	計	108	70	25	13	41	21	278
%	小	25	35.7	7.1	3.6	14.3	14.3	
	中	39.7	27.7	6.5	4.3	15.8	6	
	都	42.4	13.6	16.7	6.1	12.1	9.1	
	計	38.8	25.2	9	4.7	14.7	7.6	

質問4 連合会として、どのような事に取り組めば良いと考えますか

		①SDGsの学習会を開く	②学校でのSDGsの活動を支援する	③地域でのSDGsの活動を活発にする	④SDGsのキャンペーン活動に協力する	⑤その他	計
回答数	小	3	9	1	4	1	18
	中	32	54	9	27	6	128
	都	15	11	5	10	3	44
	計	50	74	15	41	10	190
%	小	16.7	50	5.6	22.2	5.6	
	中	25	42.2	7	21.1	4.7	
	都	34.1	25	11.4	22.7	6.8	
	計	26.3	38.9	7.9	21.6	5.3	

質問5 我が国として「持続可能社会」のために、どのようなことに取り組みばいいですか。

		①二酸化炭素の排気ガス制限を強化する	②経済優先の政治を改める	③AI等の利用を制限して人間教育を充実させる	④少子高齢化問題に積極的に取り組む	⑤その他	計
回答数	小	8	5	2	6	2	23
	中	30	21	31	45	11	138
	都	20	8	5	15	3	51
	計	58	34	38	66	16	212
%	小	34.8	21.7	8.7	26.1	8.7	
	中	21.7	15.2	22.5	32.6	8	
	都	39.2	15.7	9.8	29.4	5.9	
	計	27.4	16	17.9	31.1	7.5	

資料2 アンケート用紙

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会アンケート

2023. 8. 15

質問 1 SDGsについて、ご存知ですか。

- ① 熟知している ② 少しは知っている ③ 余り知らない ④ 関心が無い

質問 2 「持続可能社会」のために、関心があることは何ですか。

- ① 気候などの環境問題 ② 健康や福祉の問題 ③ 質の高い教育 ④ 経済成長
⑤ 男女平等などジェンダー ⑥ その他()

質問 3 あなたが、積極的に取り組んでいることはありますか。

- ① 健康に気をつけている ② エコバックをもっている
③ 家庭菜園など自を大切にしている ④ 車の運転を控えている
⑤ 男女差別の言葉や態度に気を付けている ⑥ その他()

質問 4 連合会として、どのような事に取り組みば良いと考えますか。

- ① SDGsの学習会を開く ② 学校での活動を支援する
③ 地域での活動を活発にする ④ キャンペーン活動に協力する
⑤ その他()

質問 5 我が国として「持続可能社会」のために、そのようなことに取り組みばいいですか。

- ① 二酸化炭素の排気ガス制限を強化する
② 経済優先の政治を改める
③ AI等の利用を制限して人間教育を充実させる
④ 少子化問題に積極的に取り組む
⑤ その他()

質問 6 連合会への要望や意見

SDGsのロゴマークについて…「商業用途」「資金調達目的」以外の目的で使用するのならロゴ使用に許可は必要ありません。SDGsロゴおよびアイコンの使用に関する許諾申請や問い合わせは、国連本部（ニューヨーク）が一括して対応しています。



東京都教育委員会への要請文

都公退教連 第501号
令和5年10月2日東京都教育委員会
教育長 浜 佳葉子 様東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会
会長 前川 法久
東京都公立小学校退職教頭・副校長会
東京都公立中学校退職教頭・副校長会
東京都立学校退職教頭・副校長会

要 請 書

私たちは、現職時「学校運営の要」として多くの教育課題に取り組み、貴教育委員会のご指導やご支援を得てその職責を果たし、学校教育の充実に全力を尽くして参りました。また、退職後も次代を担う子どもたちの教育について、それぞれの立場で関わり東京都の教育のために尽力しております。東京都では、都民からの教育への課題が多く寄せられており、以下の要望事項についてご高配を賜りますよう、よろしく申し上げます。

要 望 事 項

1. 退職した教頭・副校長について

- (1) 退職した教頭・副校長が学校包括支援員や副校長支援員となるが増えています。学校包括支援員や副校長支援員の全校配置をお願いします。
- (2) 退職教頭・副校長は、非常勤教員として学校運営に参画しています。しかし、非常勤教員の情報環境が不十分で不便を感じています。校内のネット環境の改善をお願いします。
- (3) 退職教頭・副校長は、非常勤講師として働いております。非常勤講師の祝日における勤務の割り振りについて、常勤職員と同じ扱いをお願いします。
- (4) 教員を増やす取り組みとして都内教員養成系大学等でのPRのために、退職教頭・副校長の活用をご検討ください。

2. 現職にある副校長について

- (1) 副校長の職務について、学校包括支援員や副校長支援員との職務分担を明確にするようにお願いします。例えば、非常勤講師任用の業務、地域連携や外部からの情報担当並びにホームページの管理など任せることをご検討ください。
- (2) 非常勤講師任用の手続きの書類が多く、副校長の業務負担を増やしています。非常勤講師名簿への登載者を増やす工夫をお願いします。
- (3) 副校長は、相変わらず長時間の超過勤務に携わっています。副校長の休職者を無くすために、副校長の働き方改革を一層推進するようお願いします。

3. 教育一般について

- (1) 教員給与の低さから教員不足が深刻化しています。教員給与の大幅アップを実施し、超過勤務に相当する手当の支給をお願いします。
- (2) 東京では、熱中症警戒アラートが何度も発令されています。しかし、屋外での運動禁止が徹底されておらず、各学校に対応が任されています。全面的な屋外での運動禁止をお願いします。
- (3) 教員によるパワハラや性被害が起こっています。教員が性加害者にならないように服務規律の徹底をお願いします。
- (4) 予算、人材や設備での区市町村による地域の学校間格差が大きくなっています。例えば、部活動予算などの学校間格差の是正をお願いします。

東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会会則

第一章 総則

- 第1条 本会は東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会という所在地を会長宅に置く
- 第2条 本会は東京都公立小学校・東京都公立中学校・東京都立学校退職教頭・副校長会（以下都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会という）相互の連携を密にし併せて教育の振興に寄与することを目的とする
- 第3条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う
- 1 教育振興の為の事業
 - 2 役員会が企画する事業
 - 3 会員相互の親睦

第二章 会員・役員

- 第4条 本会は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会で構成する
- 第5条 本会に次の役員を置く
- 1 会長…1名
 - 2 副会長…12名
 - 3 理事…12名以上
 - 4 事務局長…1名
 - 5 監事…3名
 - 6 顧問…若干名
- 第6条 役員を選出は次の通り行い総会の承認(多数決)をうる
- 1 会長は役員会により選出する
 - 2 副会長は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会より各4名選出する
 - 3 理事は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会より各4名以上選出する
 - 4 事務局長は会長が委嘱する
 - 5 監事は都小・都中・都立学校退職教頭・副校長会より各1名を選出する
 - 6 顧問は役員会の推薦による
- 第7条 会長は会務を統括し本会を代表する 副会長は会長を補佐し会長事故ある時はその職務を代行する
- 第8条 理事は1庶務2企画3会計の業務を行う各担当者は会長が委嘱する
- 第9条 事務局長は本会運営に関する事項を整理し役員等の任務を補佐する
- 第10条 監事は本会の経理を監査する
- 第11条 役員任期は2年とするただし再任を妨げない。
任期途中で選出の場合は前任者の残任期間とする
- 第12条 顧問は必要に応じて本会の諮問を受ける

第三章 会議

- 第13条 本会の会議は総会・役員会とし会長がこれを招集する
- 第14条 総会は会則の変更(多数決)役員及び予算・決算の承認(多数決)事業・企画などの重要事項を審議する
- 第15条 役員会は必要に応じて開き会務について協議する

第四章 会計

- 第16条 本会の会計は分担金及び寄付金その他をもって充てる
- 第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から始まり3月末日に終わる

第五章 付則

- 第18条 本会則は昭和62年7月17日「設定年月日」より施行する

改正 平成 6年 6月 18日
改正 平成 12年 6月 24日
改正 平成 16年 6月 23日
改正 平成 17年 6月 22日
改正 平成 18年 10月 6日
改正 令和 4年 6月 21日

公益財団法人日本教育公務員弘済会教育振興事業選考委員会規程

(目的)

第1条 この要項は、公益財団法人日本教育公務員弘済会が行う各種団体・個人等に対する貸与・給付奨学金、助成金及び奨励金等教育振興事業の適正な選考を図るため、その機関として教育振興事業選考委員会(以下「委員会」という。)を設置し、その適正な執行を図ることを目的とする。

(役割)

第2条 委員会は、実施する教育振興事業の適正な選考を図るため、必要な事項を審議し、その結果を支部長に報告する。

(組織)

第3条 委員会は、委員長、副委員長及び専門家を含む委員若干名をもって組織する。

委員長(学識経験者・学者文化人)、副委員長及び委員は、専門家、育関係者(校長会など団体出身者)等から支部長が委嘱し、任期は1期2年、通算4期8年までとする。

(委員長の職務)

第4条 1 委員長は、委員会を招集し、会務を掌理する。

2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。

(会議)

第5条 1 委員会は、委員の過半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

3 前項の議事について、特別の利害関係を有する選考委員は議決に加わることができない。

4 会議は、出席委員の過半数の議決により非公開とすることができる。

5 前項により非公開とした場合は、選考過程、採否の理由等も非公開とする。

(意見の聴取)

第6条 委員会は教育振興事業の適正化を図るため必要があると認めるときは、担当責任者の出席を求め、意見を聴取することができる。

(議事録)

第7条 1 委員会の選考過程、結果等については、議事録を作成する。

2 議事録等には、選考委員長が記名押印するものとする。

(選考結果の公表)

第8条 選考結果は、ホームページ等で公表する。

(規程の改廃)

第9条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附則

平成21年5月14日 制定施行

平成24年4月1日 制定施行

平成27年6月5日 制定施行

平成31年4月1日 制定施行

なお、改正施行日時時点で任期が8年を超えている委員については、2020年度末までに終了とします。

(公財)日本教育公務員弘済会東京支部教育振興事業選考委員会について

当会における教育振興事業選考委員会の概要は以下の通りです。

<選考委員会の構成>

1. 学識経験者 1 名
2. 退職区長会より 4 名(異なる校種から)
3. 退職教頭・副校長会連合会より 4 名(異なる校種から)
4. 支部長が推薦する者

<選考委員の役割>

弘済会の公益事業について以下の選考等を行う

1. 奨学金貸与・給付候補者の決定等
2. 一般研究助成金交付候補者の決定等
3. 団体研究助成候補者の決定等
4. 研究助成奨励金候補者の決定等
5. 教育文化奨励金候補者の決定等
6. へき地学校支援事業候補者の決定等
7. その他、公益事業に係る助成の決定

2023 年度教育振興事業選考委員会 選考委員推薦名簿

貴団体名 東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

貴会での役職名	氏名	最終勤務校	職名
小学校庶務	豊田英昭	北区立柳田小学校	副校長
中学校副会長	西川 順	青梅市立第一中学校	教 頭
中学校理事	福岡 健	葛飾区立亀有中学校	副校長
都立学校副会長	大河内保雪	都立松原高等学校	副校長

* 弘済会からの委嘱期限に合わせて検討する。

編集後記

コロナ感染症の対策が功を奏し、令和5年度の連合会の活動は、以前にも増して活発になってきました。定例会、総会などは完全に実施でき、各部会の活動も活発になってきました。小学校部会では、「樋口一葉文学散歩」、中学校部会では、講演会「刀匠の話」、都立学校部会では、教育懇談会、高校生による学校説明会など、多くの活動が行われました。いずれの会も、各部会を越えて相互に参加し、情報共有や連携を深めることができました。新年会は、実に2年ぶりに開催でき、大いに盛り上がりました。その席で、こういう交流の場をもっと企画してほしいという声がありました。ここに参加できなかった会員を含め、多くの会員が望んでいることです。今年度は、交流や連携を深めることができた年度でした。これを継続・発展してほしいと思いました。



東京都公立学校退職教頭・副校長会連合会

会長 前川 法久

事務所 〒113-0034 東京都文京区湯島4-12-2-102

TEL : 03-5809-0821 FAX : 03-5809-0863

印刷 都中退教事務局 編集 湯澤 賢兒

連合会ホームページ

<https://to-tai-fuku-ren.com/>

